

指定管理者評価シート			
事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	東区市民部地域振興課(741-2429)

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市ふしこ地区センター	所在地	札幌市東区伏古11条3丁目1-15
開設時期	平成2年(1990年)4月1日	延床面積	1,532.56㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	体育室、集会室(2室)、和室(4室)、実習室、図書室		
2 指定管理者			
名称	札幌市ふしこ地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことにより、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和7年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ふしこ地区センターの管理運営に当たっては、札幌市の公の施設を念頭におき市民の福祉の増進に務めるという理念の元、運営委員会、協議会を通して地域住民の声を把握しコミュニティ活動の参画支援をするとともに、安定的、継続的なサービス水準の維持向上に務めるとの方針を策定した。	地域住民とのコミュニケーションを大切にして懇切丁寧な対応をし相応の管理運営が実現できた。	A B C D 全職員への基本方針の浸透、委託12業務の履行、厳正な財務管理やセルフモニタリング等は適切であり、要求水準を満たしている。一方で、運営協議会への利用者団体の参画がみられない

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

信条、性別、社会的身分、年齢、人種、宗教による差別をせず、公平、公正を旨とする基本方針を各職員に研修を通じて周知徹底し、執務室内に「公平、公正に対する方針」を表示するなど、利用者にその理念を反映させることに努力した結果、定着化が図ることができた。

利用者には、公平、公正かつ平等な対応を行い、基本方針通りの適切な実施が実現できた。

ことから、今後は協定書の定めに沿って利用者の声を直接運営へ反映させるため、参画メンバーの選出など主体的な見直しを期待したい。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

ふしこ地区センター独自の環境方針に基づき、執務室内に当センターの「環境方針」を表示し、会議等を利用して周知徹底を図った。

光熱費等の節減を推進した。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

職員の事務分掌により、指揮命令系統、連絡系統の組織が確立できている。就業者は適切に確保されているが、適宜研修を実施するなどして、人材育成に配慮した。

パート職員の育成にも力を注ぎ、夜間勤務においても職務に支障を生じることなく、適切な運営を行うことができた。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

毎月、常勤職員による事務局会議及び研修を行い、業務の適切な維持改善に努めた。インフルエンザ等感染症による業務対応については、自己判断を前提に、感染拡大期にマスク着用、手指消毒を励行して事務処理や窓口対応を行った。

以前に比べて、予約の取り消し及び変更業務が減り、適切な業務処理対応ができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

清掃業務、警備業務、エレベータ保全業務、自動ドア保全業務、ボイラー保全業務、消防設備保全業務、自家用電気工作物保安全管理業務、舞台装置保全業務、地下貯油槽定期点検業務、貯水槽清掃業務、除排雪業務、施設設備運転保守管理点検業務について、第三者に委託した。仕様書に基づき業務計画書及び完了報告書を提出させ委託した業務が適正に行われたかどうか履行確認検査を行った。

業務の監督者、責任者を明確にして指揮命令系統が確立されていた。契約に基づく履行が適正に行われていることを確認した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	6月13日東区民センター東区地域振興担当4館連絡会議 地域振興課からの連絡事項 各センターからの情報意見交換

協議会委員を札幌市指定管理者、地元町内会等で構成し、業務実施経過及び管理運営の向上に向けた意見交換が行われた。

第2回	6月30日ふしこ地区センター運営協議会 6年度事業報告・7年度事業計画・施設利用状況・管理運営の問題点改善点	結果は札幌市に報告した。
第3回	9月5日ふしこ地区センター東区地域振興担当4館連絡会議 地域振興課からの連絡事項 各センターからの情報意見交換	
第4回	12月5日栄地区センター東区地域振興担当4館連絡会議 地域振興課からの連絡事項 各センターからの情報意見交換	
第5回	3月10日苗穂本町地区センター東区地域振興担当4館連絡会議 地域振興課からの連絡事項 各センターからの情報意見交換	
<協議会メンバー> 伏古本町連合町内会長及び総務副部長、丘珠連合町内会長及び会計、札幌連合町内会会長及び副会長、東区市民部地域振興課長、東区スポーツ推進委員会顧問、伏古本町地区青少年育成委員会会長、丘珠地区女性部会長、丘珠連合町内会福祉部長、丘珠地区女性部副部長、札幌連合町内会事務局長、札幌連合町内会副会長、伏古第二団地町内会長、新栄町内会長、北栄町内会長、北栄西町内会長、北栄東町内会長、伏古みみずく町内会長、東伸町内会長、ふしこ地区センター館長		
▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼資金管理は、運営委員による自主監査を実施した。 ▼現金の取り扱いが規程のとおり適切になされているか確認のため、館長が毎日点検した。 ▼コピー料金及び電話使用料金は使用記録簿を作成し適正に記載したのち現金照合を行い金庫に保管した。 ▼会計ソフトに元帳、帳票を入力し、精査確認を行った。会計処理検査は定期的に税理士に依頼した。		
▽ 要望・苦情対応 アドバイスカードを設置し意見を求め、令和7年度は1件であった。なお、記載内容が当館の運営に関する意見要望ではなく、内容が意味不明であったため札幌市に報告はしていない。		
毎月館長が帳簿、通帳、帳票を突合し適正に処理されていることを確認した。現金の取り扱いは、現金取扱規程の通り処理されているか税理士による定期検査を実施した。会計ソフト活用を行い適正化を図った。		
適正な意見内容については札幌市からの指導をいただき適切に対応する。		

	▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼要望意見については、館内に「アドバイスカード」お客様の声を設置した。 ▼サークル利用者、図書室利用者のアンケート結果、運営協議会、四館連絡協議会会議の結果について札幌市に報告するとともに、館内に議事録等を掲示した。		
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼令和8年度時間外労働・休日労働に関する協定届を札幌東労働基準監督署に提出した。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。 ▼可能な限り年次休暇を取得させワークライフバランスに考慮した。 ▼1年に1回の定期健康診断を行った。 ▼労働関係法令にのっとり、ふしこ地区センター「職員就業規則」に基づき、法令の遵守を徹底した。 ▼複数の委託業者に労働基準法の遵守励行の確認を行った。	労働関係法令に基づき適正な手続きを行い、労働環境の向上に努めた。	A B C D 時間外労働・休日労働に関する協定届の提出や、勤務形態に応じた各種社会保険への適切な加入、定期健康診断の実施など、労働関係法令を遵守した適正な労務管理が行われており、要求水準を適切に満たしている。
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼利用者の安全を確保するため、常に館内外の見回りを行い、月に1度防火防災安全自主点検を職員全員で行い危険個所の発見とその改善を行った。 ▼拾得物は保管記録簿を作成し、直ちに返還を想定し、対応しているが、原則警察に届け出している。 ▼有事の際に備えて防災計画及び消防計画で連絡体制を定めた。また、札幌市との連絡体制を整えており、関係職員に周知徹底している。 ▼施設利用者のうち主催事業参加者及び講座受講者を対象に損害賠償保険に加入した。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)	施設内外の管理は、職員全員で適切に管理され、利用者の安全を確保した。	A B C D 毎月の防火防災安全自主点検や日々の館内外巡回を徹底し、利用者の安全確保に万全を期している。各種設備保守や清掃など仕様書に定める委託12業務を適正かつ確実に履行し、施設設備が所要の性能を発揮する状態を適切に維持している。また、6月と11月に利用者が参加する計画的な自衛消防訓練を確実に実施し、職員および市民の防災意識向上を図っている。外構や花壇等の美化管理も

▼清掃業務、警備業務、エレベータ保全業務、自動ドア保全業務、ボイラー保全業務、消防設備保全業務、自家用電気工作物保安管理業務、舞台装置保全業務、地下貯油槽定期点検業務、貯水槽清掃業務、除排雪業務、施設及び設備の運転・保守・管理点検業務について、委託業務契約に基づき適正に履行された。

▼外構緑地、駐車場の管理を職員で行った。芝刈り、雑草抜き、庭木の剪定、冬囲い、雪かきは状況を見ながら館長が実施した。

▼花壇の整備は、パート職員等の協力を得て雑草取りなどこまめに行い、ほぼ良好な環境が保たれた。

▼備品は、数量を突合するなど適切に管理を行い、不良品は適宜廃棄処理を行った。

▼設備の補修は、専門業者に依頼して適切に維持管理するとともに、軽微な修繕は職員が行った。

丁寧に行われており、要求水準を適切に満たしている。

	▽ 防災 ふしこ地区センター消防計画(7年6月改定)に基づき、6月と11月に消防訓練を実施した。各利用者含め20～25名の参加を得た。なお、実際にロビーまで避難してもらい、その場に集合させ想定訓練とした。混乱等はなく予定通り終了した。	利用者の協力を得て円滑な訓練が実現できた。																																					
(4)事業の計画・実施業務	▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務 ▼6講座(延べ28回開催)を開講し、延べ566名の参加を得た。受講率は74%であった。 ▼各講座の受講者にアンケートを実施したところ全ての講座で満足度が高かった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th><th>回数</th><th>募集</th><th>受講者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かけっこ講座</td><td>1</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr> <td>教養講座(相続と税金講座)</td><td>1</td><td>20</td><td>19</td></tr> <tr> <td>お手軽運動講習会</td><td>14</td><td>50</td><td>33</td></tr> <tr> <td>ベビーマッサージ講座</td><td>4</td><td>5</td><td>2</td></tr> <tr> <td>第1回スマホ講座</td><td>4</td><td>12</td><td>3</td></tr> <tr> <td>第2回スマホ講座</td><td>4</td><td>12</td><td>11</td></tr> </tbody> </table> ▽ 各事業に関する情報収集及び提供業務 ▼ 各講座のポスターを掲示、パンフレットを配布して周知徹底を図った。 ▼ ロビーの掲示板にサークルの作品展示を開放し、来館者の関心を高める努力を行った。 ▼ 図書室前の掲示板に新着本を紹介し、加えて図書室内に新着本専用棚を設置して購読意欲を促すよう働きかけた。 ▼ 予約本の多い順にリストを作成し、定期的に更新して情報提供を行った。 ▼ 図書室内の掲示板に新聞読書欄、出版等に関する記事を掲示して情報提供を行った。 ▼ 主な文学賞のリストをファイルし、情報提供を行った。	講座名	回数	募集	受講者	かけっこ講座	1	20	21	教養講座(相続と税金講座)	1	20	19	お手軽運動講習会	14	50	33	ベビーマッサージ講座	4	5	2	第1回スマホ講座	4	12	3	第2回スマホ講座	4	12	11	満足度、理解度ともに達成率は80%以上であった。なお、受講希望者少数のため1講座が中止となった。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 開講数6講座は仕様書目標(年間10講座程度)を下回った。しかし、講座全体では28回開催しているうえ、延べ参加者数も566名と多くの住民が参加し、全講座で満足度等80%以上を達成していることから、地域住民の健康維持や生涯学習ニーズに深く貢献していると言える。今後は開講数の回復に向けた新規講座の戦略的な企画を期待する。	A	B	C	D				
講座名	回数	募集	受講者																																				
かけっこ講座	1	20	21																																				
教養講座(相続と税金講座)	1	20	19																																				
お手軽運動講習会	14	50	33																																				
ベビーマッサージ講座	4	5	2																																				
第1回スマホ講座	4	12	3																																				
第2回スマホ講座	4	12	11																																				
A	B	C	D																																				

▽ 事業に関する市民の自主活動及び交流の支援業務

▼ ほのぼのコンサート

9月27日(日)元札幌交響楽団コンサートマスターほか4名の札幌交響楽団員による演奏会を開催した。入場制限を行わず開催したこともあり盛会裏に開催できた。

人数制限なし、大盛況であった。

▼ 文化祭

10月3日、10月4日及び10月5日の3日間開催した。展示発表13サークル、舞台発表19サークルの参加があった。

参加者数は例年より増加し、サークル参加者の熱心さが伝わるなど、盛会裏に終了した。

▼ ふれあい喫茶

近隣の複数の町内会とふしこ地区センター共催で、毎月第4月曜日に開催した。手芸、合唱、ゲーム、歓談と多彩で地域の高齢者を主体に毎回60名～65名ほどの参加を得た。

高齢者の参加が多いが、年々参加者は増加傾向にある。

▼ クリスマスのつどい

毎週水曜日図書室で開催している「ふしこ絵本よみうきかの会」の特別イベントとして12月13日(土)に「クリスマスのつどい」を開催した。保護者を交え79名の参加があった。紙芝居、スライド、読み聞かせなど盛りだくさんであった。

ボランティアグループ「ふしこ絵本の会どんぐり」の協力を得て開催した。子供が絵本に親しむ最適の場として又親子の交流の場として大いに役立つ催しであった。

▼ 各種大会

インディアカ、バドミントン、バウンドテニス、卓球、囲碁将棋大会を開催し、122名の参加を得た。

▼ 地域の憩いの場づくり施設活用事業

令和5年4月から開放事業を再開し、バドミントン、卓球、バスケットボール、囲碁将棋の無料開放を実施した。

▼ 図書室

	R6年度実績	R7年度実績	増減率
開室日数	280日	279日	99.6%
蔵書冊数	45,980冊	46,120冊	100.3%
登録者数	3,080人	3,083人	100.1%
貸出冊数	99,421冊	96,570冊	97.1%

貸出冊数が減少しつつある。
コロナ禍需要の減少が尾を引き、また、電子書籍の普及によることが大きな原因と考えられる。

▼ 「ふしこ絵本の会どんぐり」の皆さんによる絵本の読み聞かせの会を毎週水曜日に実施した。

▼ 季節の風物や行事の本をテーマ展示した。

▼ 図書室絵本コーナー壁面に毎月季節の装飾を施し、潤いのある環境を設定した。

▽ 各事業に関する相談業務

	▼ 文化祭実施に向け、7～9月の間、打合会を開催し、各サークルからの要望や相談を受け活用した。 ▼ 卓球大会、クリスマスのつどい、ふしこふれあい喫茶について各団体からの要望や相談を受け活用した。																																																																											
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 <table><tr><th colspan="2"></th><th>R6年度実績</th><th>R7年度計画</th><th>R7年度実績</th></tr><tr><td rowspan="3">体育室</td><td>件数(件)</td><td>1,174</td><td>1,000</td><td>1,092</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>28,903</td><td>31,500</td><td>42,336</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>94.9</td><td>93.0</td><td>89.6</td></tr><tr><td rowspan="3">集会室</td><td>件数(件)</td><td>1,378</td><td>1,350</td><td>1,242</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>12,200</td><td>17,000</td><td>11,169</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>63.0</td><td>65.0</td><td>57.2</td></tr><tr><td rowspan="3">実習室</td><td>件数(件)</td><td>564</td><td>650</td><td>516</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>4,373</td><td>5,200</td><td>3,786</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>52.8</td><td>55.0</td><td>48.3</td></tr><tr><td rowspan="3">和室</td><td>件数(件)</td><td>1,225</td><td>1,000</td><td>1,242</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>5,547</td><td>5,800</td><td>5,308</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>57.9</td><td>50.0</td><td>58.75</td></tr><tr><td rowspan="3">娯楽室</td><td>件数(件)</td><td>1,387</td><td>1,300</td><td>1,364</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>7,701</td><td>11,500</td><td>6,891</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>62.3</td><td>59.0</td><td>63.5</td></tr></table> ▽ 不承認 0件、取消し30件、減免 0件、還付 0件 ▽ 利用促進の取組 ▼ 各行事に来館される不特定多数の方などを対象に講座やサイクル案内を看板や掲示板上に常設表示し、利用促進に務めた。			R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績	体育室	件数(件)	1,174	1,000	1,092	人数(人)	28,903	31,500	42,336	稼働率(%)	94.9	93.0	89.6	集会室	件数(件)	1,378	1,350	1,242	人数(人)	12,200	17,000	11,169	稼働率(%)	63.0	65.0	57.2	実習室	件数(件)	564	650	516	人数(人)	4,373	5,200	3,786	稼働率(%)	52.8	55.0	48.3	和室	件数(件)	1,225	1,000	1,242	人数(人)	5,547	5,800	5,308	稼働率(%)	57.9	50.0	58.75	娯楽室	件数(件)	1,387	1,300	1,364	人数(人)	7,701	11,500	6,891	稼働率(%)	62.3	59.0	63.5	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 施設全体の稼働率は62.1%と目標の67%程度を下回ったものの、7月の利用料金改定のなかでも丁寧な案内に努め、総利用人数は69,490人と高い水準を達成した。看板への常設表示など地道な利用促進活動も適切に実施されている。今後は、利用率の低い部屋の特性に応じた戦略的な利用促進を期待する。 パンフレットやポスターを掲示し、利用促進に取り組んだ。	A	B	C	D
		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績																																																																								
体育室	件数(件)	1,174	1,000	1,092																																																																								
	人数(人)	28,903	31,500	42,336																																																																								
	稼働率(%)	94.9	93.0	89.6																																																																								
集会室	件数(件)	1,378	1,350	1,242																																																																								
	人数(人)	12,200	17,000	11,169																																																																								
	稼働率(%)	63.0	65.0	57.2																																																																								
実習室	件数(件)	564	650	516																																																																								
	人数(人)	4,373	5,200	3,786																																																																								
	稼働率(%)	52.8	55.0	48.3																																																																								
和室	件数(件)	1,225	1,000	1,242																																																																								
	人数(人)	5,547	5,800	5,308																																																																								
	稼働率(%)	57.9	50.0	58.75																																																																								
娯楽室	件数(件)	1,387	1,300	1,364																																																																								
	人数(人)	7,701	11,500	6,891																																																																								
	稼働率(%)	62.3	59.0	63.5																																																																								
A	B	C	D																																																																									

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ ホームページを刷新し、更に見やすくしてこまめに内容を更新した。 ▼ 各種行事、講座案内を「広報さっぽろ」紙と「広報ふしこ地区センター便り」に掲載したほか、館内の掲示板に掲示、陳列するなどした。ポスターチラシは他の地区センター、まちづくりセンターに配架を依頼した。 ▼ 札幌市主催及び後援にかかる関連団体のポスターチラシを館内に掲示陳列した。 ▼ ふしこ地区センター広報誌を発行し、関係8町内会に回覧用などとして300部を作成・配布するなどして近隣住民への周知徹底を図った。	広報誌「フリップパー」への掲載がなくなったため、集客力に若干の陰りがみられることから、それを補うための方策を検討中である。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">広報誌への記事掲載、館内外や他施設へのチラシ配架など、多角的な広報活動を適切に実施している。地域情報紙への掲載終了に伴う集客の陰りという課題に対しても、指定管理者が主体的に補完策を検討しており、広報体制の維持改善に努めていると言え、総じて要求水準を適切に満たしている。</td></tr></table>	A	B	C	D	広報誌への記事掲載、館内外や他施設へのチラシ配架など、多角的な広報活動を適切に実施している。地域情報紙への掲載終了に伴う集客の陰りという課題に対しても、指定管理者が主体的に補完策を検討しており、広報体制の維持改善に努めていると言え、総じて要求水準を適切に満たしている。			
A	B	C	D								
広報誌への記事掲載、館内外や他施設へのチラシ配架など、多角的な広報活動を適切に実施している。地域情報紙への掲載終了に伴う集客の陰りという課題に対しても、指定管理者が主体的に補完策を検討しており、広報体制の維持改善に努めていると言え、総じて要求水準を適切に満たしている。											
2 自主事業その他											
▽ 自主事業 飲料水自動販売機1台での運用を行った。利用者の増加に伴い自販機の利用も回復した。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼ 市内企業の活用については、購入物品の調達、修繕及び第三者への委託業務を市内の企業に依頼している。 ▼ 印刷物の発注について、札幌市内の福祉施設工場を利用した。	次年度以降自販機の増設を計画するなど、自主事業の活性化を図りたい。 市内企業の利用や福祉施策には十分配慮した。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">自主事業の運営や市内企業の活用、福祉施策への配慮が適切に実施されており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。</td></tr></table>	A	B	C	D	自主事業の運営や市内企業の活用、福祉施策への配慮が適切に実施されており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。				
A	B	C	D								
自主事業の運営や市内企業の活用、福祉施策への配慮が適切に実施されており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。											

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	アンケート対象者と実施日・実施人数 ▼施設利用者 令和8年3月10日から3月20日に利用した30団体 ▼図書室利用者 令和8年3月10日から3月20日に利用した30人 ▼回答者30団体、30名
結果概要	▼ センター内外の清掃状況について満足度80%以上の回答を得た。 ▼ 施設設備の管理状況はおおむね良好との回答であった。満足度は80%以上であった。 ▼ 貸室の申し込み方法について、月単位等でまとめて申し込む方法の提案があったが、おおむね良好で、満足度は80%以上であった。 ▼ 貸室の料金の支払い方法及び金額について、満足度80%以上であった。 ▼ 図書室の再利用、使い勝手、清掃及び接客態度などについて、満足度は80%以上であった。

職員の接客対応、施設の設備、清掃に対する満足度達成率はいずれも80%以上と効率であった。

要望事項については、1件もなかった。

ふしこ地区センター全体に対する満足度はほぼ100%であり、目標値を達成したものと考えている。

A	B	C	D
利用者アンケートにおいて全体的満足度で80%を達成しており、仕様が定める要求水準(80%以上)をクリアしている。これは寄せられた意見や要望を真摯に受け止め、丁寧かつ迅速な対応に努めていることの表れとも言え、要求水準を適切に達成している。			

利用者からの意見・要望とその対応	【意見】
	大きなくりで予約した場合、金額が高くなるため、使用しない時間を割引する仕方があればいいと思う。
	【回答】
	時間貸し制度があります。ただし申込期間が使用日の5日前からですのでご注意ください。
	【意見】
	駐車場が満車で入れないことがある。
	【回答】
	早く来るか、できれば公共機関のご利用をお勧めします。
	【意見】
	フットサルについて無料開放してほしい
	【回答】
	体育室設備の関係から、施設の損壊につながる事が考えられるため、フットサルのご利用は控えさせていただいてます。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	36,462	38,953	2,491
指定管理業務収入	36,417	38,849	2,432
指定管理費	26,606	28,128	1,522
利用料金	9,700	10,669	969
その他	111	52	▲ 59
自主事業収入	45	104	59
支出	36,778	35,462	▲ 1,316
指定管理業務支出	36,761	35,445	▲ 1,316
自主事業支出	17	17	0
収入-支出	▲ 316	3,491	3,807
自主事業による利益還元	0	0	0
法人税等			0
純利益	-316	3,491	3,807

価格の改定に伴い収支の状況が改善され良好に推移しているが、これも職員が日頃から円滑かつ丁寧な施設運営を心掛けている成果であり、今後も適切な運営に基づく良好な収支決算を目指したい。

A	B	C	D
7月の利用料金改定に伴う増収効果や、光熱費・清掃委託料高騰に対する市からの適切な補填措置を背景に、節減努力を重ねて支出を計画以下に抑制した。結果として、当初予定の赤字計画から脱却し、3,491千円の純利益を計上して黒字化を達成している。健全かつ効率的な財務運営であり、仕様書の要求水準を達成していると評価する。			

【参考】	R7年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	0	下記のとおり

▽ 説明

▼ 利用料金増は、利用料金を改定(値上げ)したことによる。

▼ 光熱水費の高騰が見られたが、無駄を省き効率的な予算執行ができた。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

清掃委託料及び光熱費の高騰について札幌市から補填され、また、利用料金改定に伴い、厳しい予算事情は緩和され、徹底した節約を励行したことにより、効率的な予算執行ができたものと思料される。ただ、世界情勢の不安定化のため、安定的な将来展望を見据えることができないことから、利用者の動向を観ながら、今後も省エネに努めつつ、健全かつ安定した施設運営を目指したい。

適

不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼ 各条例にのっとり、適切に対応することとする。なお、令和7年度は該当事例はなかった。

▼ パソコン及び記憶媒体の持ち込み及び持ち出しを禁止し、個人情報の保管については、施錠のできる机又はロッカーを利用している。また、パスワードを重用して万全の体制で漏洩対策を徹底した。

▼ 個人情報記載の書類などは直ちにシュレッダー処理で廃棄した。

適

不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
▼ 令和7年度は、各室の利用率が非常に高く、利用希望がバタニングすることがあるなど、施設の利用は高評価で推移している。また、施設活用事業(無料開放)も非常に高い人気を集めている。また、当センターが企画した各事業は全て盛会裏に終了することができている。 そして、利用者に協力いただき、各所にアルコール消毒器を設置するなど防疫対策を継続させていることから、特に感染症の発症などの事案もなく、健全で円滑なセンターの運営を維持することができた。 ▼ 収支決算において黒字となっているが、施設設備の老朽化が著しく、今年度はそちらの方にも予算をかけたいところ。ただ、常に節約することを忘れず、健全な施設経営に向けて日々努力したい。 ▼ 利用者アンケートによる満足度は全て達成されていた。当センターは立地条件が良く、職員の対応も習熟しているので利用者数は図書室も含めて高い水準にある。これまで通り職員の対応、施設の整備を充実させ更なる評価の高い施設を目指して努力をしていきたい。	▼ 安定した管理運営 昨年度の利用料金の改定に伴い、収入面では安定的な施設運営が図られることとなった。当センター利用者からのセンター運営に対する評価は、非常に高いものがあるが、これに安住することなく適切な態度で来館者に対応したい。 しかしながら、カスタマーハラスメントをする少数者がいるため、これらの人には毅然とした態度で接し、施設の安全性を高めたい。ただ、施設の老朽化が目立つものの改善が厳しいことに加えて、世界情勢が極めて不安定で、かつ、天災事変が頻発していることから、光熱水料の節約に努め、また、非常時に即応できる体制をあらかじめ整えておきたい。 ▼ 使用承認の適正化 貸室利用の規程にのっとり適切に処理するためには、関係規程に習熟する必要がある。このため研修や会議などで周知徹底を図る。 ▼ 明るい職場環境の実現 少数職員で構成される地区センターは、チームワークが非常に重要な要である。お互いに協力し合い風通しの良い職場作りに努め、全職員が情報を共有し、同じ目標にまい進できる明るく健全な職場環境を達成させる。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
仕様書に定める各項目において要求水準を適切に達成し、極めて堅実かつ安定的な施設運営が実践されている。地域住民や各種団体を主体的に巻き込み、コミュニティの価値を高める誠実な姿勢は前年度に続き高く評価できる。赤字見込みだった収支を徹底した節減努力等で黒字化させるなど堅牢な経理管理も行われており、総じて極めて良好な管理運営基盤を維持している。	区民講座において、お手軽運動講習会は継続開催により延べ受講者数は460人を超えたが、開講数(6講座)や受講率(74%)が目標を下回った点は改善課題である。今後は新規企画による開講数の回復に努められたい。また、全体の稼働率(62.1%)は目標に届かなかったものの、料金改定のなかでも丁寧な案内により高い総利用人数(69,490人)を維持した。今後は利用率の低い部屋の特性に応じた戦略的な利用促進アプローチの展開を期待する。あわせて、運営協議会の構成メンバーについては、協定書の本来の趣旨に則り、利用者の生の声をより直接的に運営へ反映させるため、利用者団体等の参画に向けた主体的な見直しに取り組まれたい。